

# 自分の死を創る

土浦めぐみ教会 説教 2023年10月29日

開会讃美 教会福音讃美歌 40番 「父の神の真実は」

## 序 PPT 1

おはようございます。最近読んだ死生学の本に、珍しい言葉を見ました。今朝はそれを説教題にしました。「自分の死を創る」です。自分の死を創るには2つの意味があります。一つは、自分の人生を一つの物語として総まとめをし、艱難辛苦すべてを含んだ自分の人生に納得して、自分の死を受容すること。二つ目は、いのちと死そして存在と消滅の世界観を思い描くことによって、死後の不安を克服することです。こちら側では人生の総括をし、またあちら側への備えをすることでしょう。今日は、こちら側の自分の死を創る、つまり私自身の人生の総括を紹介します。最初の転換点はクリスチャンに成ったことです。

## PPT 2 古河教会 救いと献身の証 闇鍋に誘われて

60年前の日本にも受験地獄がありました。追われ追われて、また自らの意気地なさで限界に苦悶し、わずか数十年の人生をどう生きるのかと葛藤していました。闇鍋に誘われて教会に行きました。そこで競争社会で受験、就職、出世と続く、規定ルールを進む束縛の人生でなく、神の前を自由に生きる人生があることを知って、主イエスを信じました。

Iヨハネ3:16 キリストは、私たちのために、ご自分のいのちをお捨てになりました。それによって私たちに愛がわかったのです。ですから私たちは、兄弟のために、いのちを捨てるべきです。

私たちは、兄弟のために、いのちを捨てるべきです。この聖句が、私の人生の究極の目的になりました。別にカッコ良いことを言っているのではありません。クリスチャンの方なら、分かってもらえるでしょう。自分のために生きるのではない、何をするにしても、人に何と言われようと、神様の喜ぶように生きる。これがクリスチャン人生の究極の目的ですよね。

「幸福論」を書いたカール・ヒルティエーの言葉、*一般人の耳には如何に奇妙*

に聞こえようとも、幸福とは享樂することには無く、奉仕することにある。本当の幸福とは、何かを所有することには無く、何かを消費することでもない。そうではなく誰かに期待され、誰かと共に生き、誰かのために生きることである。この聖句によればそれは兄弟のために生きる。ということです。そんな人生を生きようと高校3年の時に献身をして、大学を卒業し神学校に進みました。

### PPT 3 安城教会 教職人生第1期 安城キリスト教会時代

1970年、神学校を卒業して、愛知県の安城教会の牧師になりました。

PPT 4 牧師に成ったのは25歳の若造でしたが、若い青年たちと生き活きと、そしてやさしい婦人たちから、細やかな愛の配慮を受けて育てられました。信徒は信頼できる、と確信した5年間でした。

PPT 5 牧師3年目、1972年の8月、約1か月の東南アジア訪問で、私の人生は変わりました。ジャワの寒村で、「日本人は残逆だ」と叫ばれて、戦後30年代に生きる日本人キリスト者として、歴史の負い目に圧倒されたのです。

### PPT—6 ロマ書

ロマ 1:14 私は、ギリシヤ人にも未開人にも、知識のある人にも知識のない人にも、返さなければならない負債を負っています。ですから、私としては、ローマにいるあなたがたにも、ぜひ福音を伝えたいのです。

あなたはタイ人にもインドネシア人にも、戦争の被害者にもそうでない人にも、返さなければならない負債を負っている、と聞こえたのです。そこで戦後30年代に生きる日本人キリスト者として、謝罪と償いと癒しのためにアジアに行くべきと思い、宣教師になる決意をしました。

### PPT 7 教職人生第2期 宣教師へ 宣教師生活15年

ジャワの宣教師生活10年は、新鮮で楽しく、数えきれない神様の御業を目撃した時でした。その神様の御救いの業を紹介しましょう。

### PPT 8-18 ドゥッカー教会における神の業 PPT 紹介

本当に不思議な出来事の連続で、多くの人がクリスチャンに成って、イスラム教の村に、教会が出来ました。まさに神様の御業としか言いようがありません。

### PPT 19 福音は普遍的力

歴史的負い目を負って、宣教師になって良かった。それによって、福音の普遍的力を目撃したからです。

キリストの福音はいかなる民族、文化、国籍にあっても、誰でも救いうる福音です。信仰によって誰にでも罪の赦しと平安を与える力であり、誰にでも新しい力を与える命であり、誰にでも永遠のいのちの希望を与える神の力です。教会が持つものは、この『キリストの福音の普遍的な力』なのです。

### PPT 20 アメリカ留学時代 1986－1990

PPT それから1986年に渡米し、3年半留学しました。その間Mission Valley Free Methodist Churchという教会の青年主事をしました。素晴らしい日系アメリカ人やその二世たちに出会いました。そこで生きている彼らを見て、初めて民族や種族へのこだわりや、国籍や国境などから自由になれました。それから1990年、日本に帰国して、土浦めぐみ教会に赴任しました。

### PPT 20—23 教職人生第3期 29年間めぐみ教会 PPT紹介

めぐみ教会の29年間は、今振り返ると、夢のように楽しく感謝に溢れる時でした。さらに新しい祝福が注がれました。

尊敬する韓国人留学生たちと出会い、再び自分は戦後40年代に生きる日本人クリスチャンと再確認したのです。それは戦後40年代に日本人クリスチャンとして、日韓の教会の和解と癒しと相互信頼のためではないか、そう信じてコイノニアを続けて来ました。そこからまた予想もしなかった祝福を得たのです。その貴重な祝福を紹介しましょう。

### PPT 24—40 コイノニア20年間の祝福 PPT紹介

実は先週の日曜日は、大方教会の礼拝に参加しました。大方教会のコイノニアを経験した方がたは、美しい思い出をたくさん持っています。みんなお互いが大好きで、お互いが心から尊敬しています。私は確信しています。めぐみ教会でコイノニアを経験した日本人クリスチャンは、大方教会の聖徒たちをこれからも愛し続けると、そして2度と再び韓国の人びとに銃を向けることは無いと。

#### PPT 4 1 世界性

インドネシア宣教を通して、神様はキリストの福音の普遍的力を体験させてくれました。そしてコイノニアを通して、再び素晴らしい真理を体験させてくれました。それは教会の世界性です。

キリストの福音はいかなる民族、文化、国籍にあっても、誰でも救いうる普遍的力です。それ故に教会という聖徒の群れは、もともと全人類的なものであり、もともと全世界的なものです。

教会が持つものは二つ、『キリストの福音の普遍的な力』であり、『キリストの教会の世界性』なのです。それ故に世界宣教の使命が教会に託されているのです。

私は日本人としての歴史的負債を、まだ償い切っていないと思います。それは私のいのちの最後まで続くでしょう。そして今、私は人生を振り返って、歴史認識から始めた人生で良かった、と心から感謝しています。

安城教会から宣教師生活へ、そして土浦めぐみ教会まで、53年間奉仕しました。こんな豊かな教職人生を過ごせたのは、みなさんの寛容と赦しと祈りによるものです。心から御礼申し上げます。ただすべては神様の憐れみですので、主の御名をほめたたえます。以上が、「自分の人生に納得して、自分の死を受容した」ものです。私の「死を創る」前半を紹介しました。みなさんの物語もいつかお聞かせください。

年齢を考えると、いつ召されても不思議ではありません。そこで改めて、今までのお交わりに心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。これからはクリスチャンとして生ける限り、主イエス・キリストの普遍的力を感謝しつつ、教会の世界性を喜びながら、一緒に生きて行きましょう。

## 祈 祷

万物の創造者である神様、この美しい世界を感謝します。にもかかわらず破壊と殺戮を繰り返している愚かな人類を憐れんでください。大いなる知恵と慈しみをもって私たちを生かす神様、私たち一人ひとりを、罪と弱さと死の恐怖から救い出して下さいました。そして私たちを、民族や国境を越えて、世界に広がるキリストの家族にしてくださいました。心から感謝いたします。すべてを美しくデザインされる主権者なる神様、生ける限りあなた様の、御救いと教会の中で生きていきます。導きください。主イエス様のお名前によって祈ります。アーメン

賛美 新聖歌 227 番 「キリストの愛我に迫れり」

祝祷 ガラ 3:26- あなたがたはみな、キリスト・イエスに対する信仰によって、神の子どもです。ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男子も女子もありません。なぜならあなたがたはみな、キリスト・イエスにあって、一つだからです。

願わくは、救い主イエス、キリストの恵み、父なる神の慈しみ、聖霊なる神の親しい交わりが、会衆一人一人の上に、豊かに限りなくありますように。